

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公開番号】特開2012-209744(P2012-209744A)

【公開日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2011-73521(P2011-73521)

【国際特許分類】

H 04 W 24/08 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 2 4 4

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月14日(2014.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の情報処理端末は、無線通信網に接続可能な情報処理端末であって、電波強度の測定値を取得する取得手段と、前記取得された前記電波強度の測定値に基づいて電波状況を予測する予測手段と、前記予測手段により前記電波状況が悪くなると予測された場合は前記無線通信網からデータを取得させる制御手段と、を備える。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信網に接続可能な情報処理端末であって、電波強度の測定値を取得する測定値取得手段と、前記取得された前記電波強度の測定値に基づいて電波状況を予測する予測手段と、前記予測手段により前記電波状況が悪くなると予測された場合は前記無線通信網からデータを取得させる制御手段と、
を備える情報処理端末。

【請求項2】

現在位置を測定する測定手段と、

予め決定された電波強度の概略値を領域毎に示す電波強度エリア情報を記憶する記憶手段と、

前記測定手段の測定結果と、前記記憶手段に記憶された前記電波強度エリア情報とに基づいて、前記現在位置における電波強度の概略値を取得する概略値取得手段と、

をさらに備え、

前記予測手段は、前記電波強度の測定値に加えてさらに、前記概略値取得手段により取得された前記電波強度の概略値に基づいて前記電波状況を予測する請求項1に記載の情報処理端末。

【請求項3】

前記予測手段は、前記電波強度の概略値が一定の値以上である場合、前記電波状況の予

測を行わない請求項 2 に記載の情報処理端末。

【請求項 4】

前記電波強度の概略値は、多段階の離散値として予め設定されている請求項 3 に記載の情報処理端末。

【請求項 5】

前記電波強度の測定値は、RSSIに基づく値である請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理端末。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記無線通信網から取得したデータを記録媒体に記録させ、その記録の際、前記記録媒体に既に記録されていたデータのうち、所定条件を満たすデータを消去させる請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理端末。

【請求項 7】

無線通信網に接続可能な情報処理端末が実行する情報処理方法において、電波強度の測定値を取得する取得ステップと、前記取得された前記電波強度の測定値に基づいて電波状況を予測する予測ステップと、前記予測ステップにより前記電波状況が悪くなると予測された場合は前記無線通信網からデータを取得させる制御ステップと、を含む情報処理方法。

【請求項 8】

無線通信網に接続可能な情報処理端末のコンピュータを、電波強度の測定値を取得する取得手段、前記取得された前記電波強度の測定値に基づいて電波状況を予測する予測手段、前記予測手段により前記電波状況が悪くなると予測された場合は前記無線通信網からデータを取得させる制御手段、として機能させるためのプログラム。